

第76期 中間報告書

2008.4.1 ▶ 2008.9.30



# 時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

## THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」  
「間口よりも興行きのある研究」  
「進歩は常に需要とともに」

### 財務ハイライト(平成20年9月中間期)

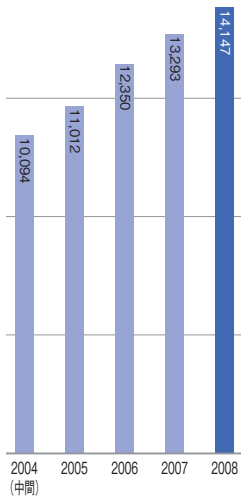
		連結決算	単体決算
売上高	(百万円)	14,147	9,760
営業利益	(百万円)	1,080	417
経常利益	(百万円)	1,325	651
中間純利益	(百万円)	938	462
1株当たり中間純利益	(円)	63.51	31.28
純資産	(百万円)	22,488	16,436
総資産	(百万円)	32,442	23,300
自己資本比率	(%)	65.8	70.5

(注)本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結業績推移

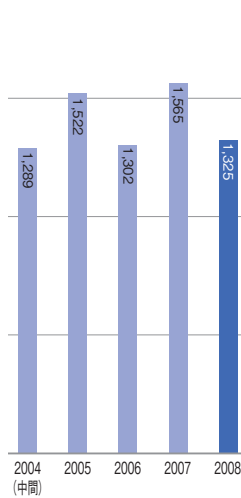
## 売上高

(単位：百万円)



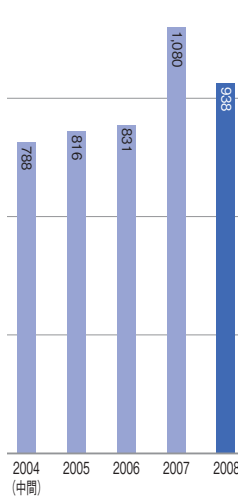
## 経常利益

(単位：百万円)



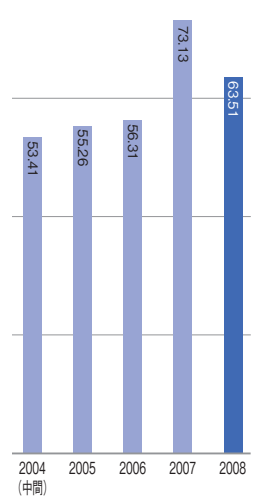
## 中間純利益

(単位：百万円)



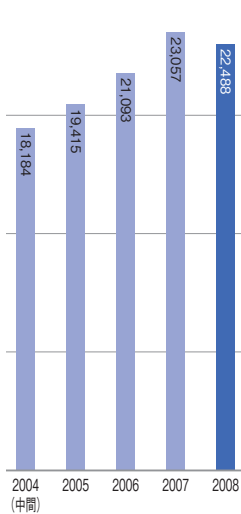
## 1株当たり中間純利益

(単位：円)



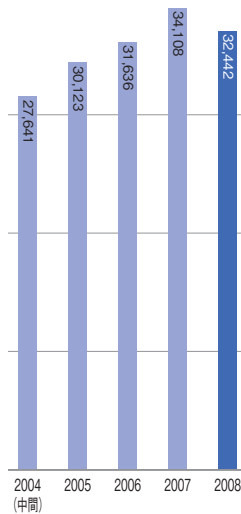
## 純資産

(単位：百万円)



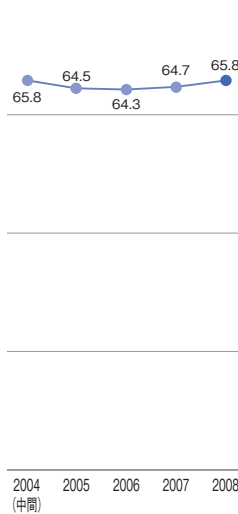
## 総資産

(単位：百万円)



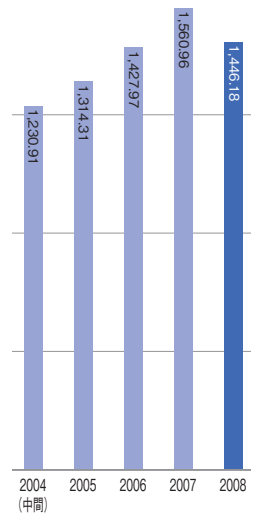
## 自己資本比率

(単位：%)



## 1株当たり純資産

(単位：円)



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、当社第76期中間期の事業の概況について  
ご報告申し上げます。



代表取締役社長

長井 禧明

当中間期の世界経済は、米国でのサブプライムローン問題に端を発する金融危機の拡大、さらに原油・ナフサ・天然油脂等の原材料価格の高騰が続いており、依然として厳しい環境にあります。当社の主要ユーザーである日系自動車業界におきましては、海外の自動車生産台数は北米地区の減産の影響をアジア地区での生産が補う形で推移し、国内生産台数も堅調な輸出に支えられました。しかし、8月において、これまで堅調であった輸出が頭打ちとなり、自動車各社では生産計画の下方修正を発表するなど、減速傾向が現れてきております。

このような環境下ではありましたが、連結売上高は拡販効果により、前年同期比6.4%増の14,147百万円となりました。

利益面につきましては、国内・海外ともに予想を上回る原材料費の高騰ならびに国内においては新たな会計基準の適用の影響を受け、前年同期を下回る結果となりました。

その結果、連結の営業利益は前年同期比13.0%減の1,080百万円、経常利益は前年同期比15.3%減の1,325百万円、中間純利益は前年同期比13.2%減の938百万円となりました。

配当金につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題として認識しており、昨年よりスタートしました中期3ヵ年計画で、配当性向は50%を下回らない範囲で実施することをお知らせしております。

中間配当については、個別業績を勘案し、誠に遺憾ではありますが、予想より5円減配の1株当たり15円とさせていただきます。

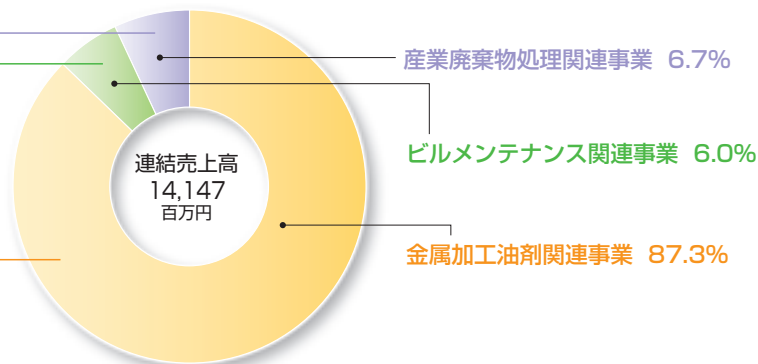
今後の見通しにつきましては、世界的な金融市場の混乱から、世界経済は減速基調にあります。また、原材料価格、為替の動向は不透明で当社グループを取り巻く経営環境につきましては、非常に厳しい状況が続くと思われる。

このような状況に対し、当社グループは、業績向上に向け、全力を尽くして経営にあたる所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

## 事業別の概況 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)



### ●金属加工油剤関連事業

金属加工油剤関連事業では、主力の切削油剤などの製品は堅調に推移し、重点拡販製品である太陽電池加工向けなどの新素材加工油剤も順調に業績を伸ばしております。

しかしながら、原油・ナフサ・天然油脂等の主要原材料価格の高騰が継続しており、製品価格の是正、原価低

減等の合理化に努めましたが、利益面では厳しい状況が続いております。

その結果、売上高は前年同期比7.8%増の12,345百万円となりました。営業利益は、前年同期比17.3%減の985百万円となりました。

### ●ビルメンテナンス関連事業

ビルメンテナンス業界は、市況の低迷が続いており、厳しい価格競争による低価格化が更に進行しています。このような状況下、価格改定、原価低減及び高付加価値製品の拡販により利益確保に努めましたが、売上高は前

年同期比10.2%減の856百万円、営業利益は前年同期比40.4%減の15百万円となりました。

### ●産業廃棄物処理関連事業

市況は8月以降軟調に推移していますが、設備改修による焼却炉の稼働率向上が業績に寄与しました。また、機械装置など償却資産の耐用年数改正により減価償却費が当初予定より増加しましたが、稼働率向上により営業

利益も改善しました。

その結果、売上高は前年同期比6.7%増の945百万円、営業利益は133.2%増の78百万円となりました。

# 連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期	前期
	平成20年9月30日現在	平成20年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	14,742	14,544
固定資産	17,700	18,928
有形固定資産	10,789	11,147
無形固定資産	76	75
投資その他の資産	6,834	7,705
資産合計	32,442	33,473
<b>●負債の部</b>		
流動負債	7,102	7,655
固定負債	2,851	3,111
負債合計	9,954	10,766
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	23,421	22,884
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,994	3,994
利益剰余金	15,477	14,938
自己株式	△300	△298
評価・換算差額等	△2,061	△1,102
その他有価証券評価差額金	△59	187
為替換算調整勘定	△2,001	△1,289
少数株主持分	1,127	925
純資産合計	22,488	22,706
負債及び純資産合計	32,442	33,473

### 資産の部

流動資産は、前期末に比べ1.4%増加し、14,742百万円となりました。これは、売上増による受取手形及び売掛金が263百万円増加したことによります。

固定資産は、前期末に比べ6.5%減少し、17,700百万円となりました。これは、投資有価証券が738百万円、有形固定資産が358百万円減少したことによります。

### 負債の部

流動負債は、前期末に比べ7.2%減少し、7,102百万円となりました。これは、未払法人税等が166百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が185百万円、短期借入金が365百万円、未払金が207百万円減少したことによります。

固定負債は、前期末に比べ8.3%減少し、2,851百万円となりました。これは長期借入金が225百万円減少したことによります。

### 純資産の部

純資産合計は、前期末に比べ、1.0%減少し、22,488百万円となりました。これは、当中間純利益が938百万円ありましたが、配当金の支払いで398百万円、為替換算調整勘定が711百万円減少したことによります。

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年4月 1 日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月 1 日から 平成19年9月30日まで
売上高	14,147	13,293 ●
売上原価	10,002	8,927
売上総利益	4,144	4,366
販売費及び一般管理費	3,064	3,124
営業利益	1,080	1,241 ●
営業外収益	282	366
受取利息及び受取配当金	82	72
持分法による投資利益	60	202
その他	139	91
営業外費用	37	42
支払利息	24	25
その他	12	17
経常利益	1,325	1,565 ●
特別利益	172	70
特別損失	2	10
税金等調整前中間純利益	1,496	1,625
法人税、住民税及び事業税	476	429
法人税等調整額	△13	9
少数株主利益	95	105
中間純利益	938	1,080 ●

### 売上高

売上高は、主要ユーザーである日系自動車メーカーへの堅調な販売で、前中間期比6.4%増の14,147百万円となりました。

### 営業利益

営業利益は、国内・海外ともに予想を上回る原材料費の高騰の影響をうけ、前中間期比13.0%減の1,080百万円となりました。

### 経常利益

経常利益は、持分法による投資利益が減少したことにより、前中間期比15.3%減の1,325百万円となりました。

### 中間純利益

中間純利益は、前中間期比13.2%減の938百万円となりました。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,156	1,231 ●
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△299	△767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△869	△327 ●
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74	144
現金及び現金同等物の増減額	△87	281
現金及び現金同等物の期首残高	5,262	5,189
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,175	5,470

### 営業活動による キャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,156百万円（前中間期比74百万円減）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益1,496百万円、減価償却費518百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額285百万円、売上債権の増加304百万円等でありま

す。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は299百万円（前中間期比468百万円減）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出277百万円、投資有価証券の取得による支出169百万円等によるものであります。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は869百万円（前中間期比542百万円減）となりました。

これは、主に配当金の支払額398百万円、短期借入金金の減少350百万円、長期借入金の返済270百万円等によるものであります。



# 単体財務諸表

## 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期
	平成20年9月30日現在	平成20年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	8,655	9,314
固定資産	14,644	14,586
有形固定資産	7,214	7,273
無形固定資産	28	25
投資その他の資産	7,401	7,286
<b>資産合計</b>	<b>23,300</b>	<b>23,900</b>
<b>●負債の部</b>		
流動負債	5,479	5,848
固定負債	1,384	1,430
<b>負債合計</b>	<b>6,863</b>	<b>7,279</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	16,504	16,443
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,994	3,994
利益剰余金	8,560	8,497
自己株式	△300	△298
評価・換算差額等	△67	177
その他有価証券評価差額金	△67	177
<b>純資産合計</b>	<b>16,436</b>	<b>16,621</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>23,300</b>	<b>23,900</b>

## 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	9,760	9,247
売上原価	7,034	6,265
<b>売上総利益</b>	<b>2,726</b>	<b>2,981</b>
販売費及び一般管理費	2,309	2,310
<b>営業利益</b>	<b>417</b>	<b>671</b>
営業外収益	255	148
営業外費用	22	25
<b>経常利益</b>	<b>651</b>	<b>794</b>
特別利益	30	64
特別損失	1	2
<b>税引前中間純利益</b>	<b>679</b>	<b>855</b>
法人税、住民税及び事業税	217	258
法人税等調整額	—	3
<b>中間純利益</b>	<b>462</b>	<b>594</b>

# 株式情報 (平成20年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 15,200,065株

株主数 5,993名  
(前期末比294名減)

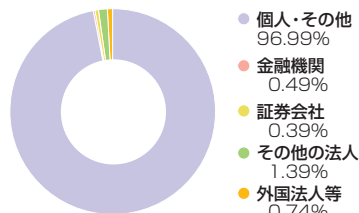
### 大株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
スティールパートナーズ ジャパン ストラテジック ファンド(オファショア) エルピー	20,250	13.71
日本生命保険相互会社	10,574	7.15
ユシロ化学工業取引先持株会	7,007	4.74
株式会社三井住友銀行	6,226	4.21
スズキ株式会社	5,490	3.71
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,863	3.29
ユシロ化学工業従業員持株会	3,689	2.49
今川 和明	3,130	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,125	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,904	1.96

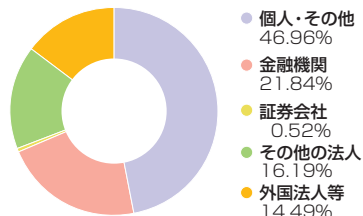
※当社は自己株式4,300百株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。出資比率は、自己株式(4,300百株)を除いて算出しております。

## 株式の分布状況

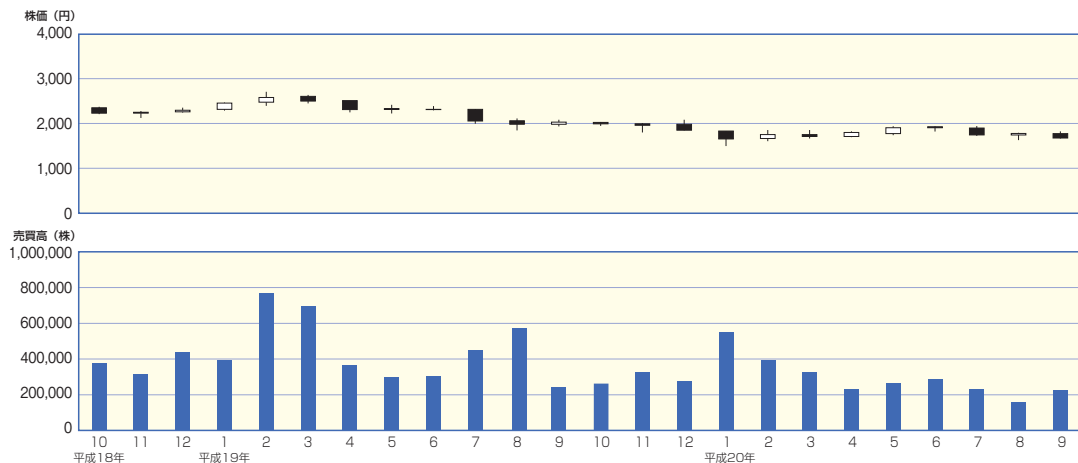
### 株主数比率



### 株式数比率



## 株価チャート



# 会社概要 (平成20年9月30日現在)

## ■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	<a href="http://www.yushiro.co.jp/">http://www.yushiro.co.jp/</a>
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	350名(連結769名)
当社グループの 事業セグメントと主な製品等	金属加工油剤関連事業 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、新素材加工油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連事業 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品 産業廃棄物処理関連事業 産業廃棄物処理及び関連する役務サービス

## ■ 連結子会社

エヌエス・ユシロ株式会社
ユシロ運送株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカ株式会社 [米国]
ユシロドブラシルレインダストリアケミカ有限公司 [ブラジル]
ユシロ(タイランド)株式会社 [タイ]
啓東尤希路化学工業有限公司 [中国]
上海尤希路化学工業有限公司 [中国]
ユシロジェットケミカルズ株式会社 [マレーシア]
広州尤希路油剤有限公司 [中国]
ユシロ(インド)株式会社 [インド]

## ■ 持分法適用関連会社

汎宇化学工業株式会社 [韓国]
株式会社汎宇 [韓国]
三宜油化股份有限公司 [台湾]
ユシロ汎宇(インド)株式会社 [インド]

## ■ 役員

代表取締役社長	長井 禎明
代表取締役専務	村木 和之
常務取締役	広部 雅久
取締役	並木 幸直
取締役	松野龍一郎
取締役	岸 裕次
取締役	岡本 晴夫
取締役	百束 立春
取締役	阪口 善裕
常勤監査役	千葉 保雄
常勤監査役*	恩田 統夫
常勤監査役*	中村 順昭
監査役*	野末 昭孝

(注) ※は社外監査役です

## ■ 事業所

テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端 1580
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船湯湯船原 1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1
東京支店	東京都大田区千鳥 2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市緑区鳴海町社若 100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮 3-5-1
北海道営業所	北海道札幌市東区北9条東 10-2-10 東明ビル
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田 470-5
北陸営業所	石川県金沢市森戸 1-158
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山 270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
証券コード	5013
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="http://www.yushiro.co.jp/">http://www.yushiro.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	株式会社 だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町14番9号 株式会社 だいこう証券ビジネス 東京支社
(郵便物送付先)	〒541-8583 大阪市中央区北浜2丁目4番6号 株式会社 だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター
(各種お問合わせ)	☎0120-255-100 (無料)
(手続用紙のご請求)	☎0120-351-465 (無料)
	ホームページ <a href="http://www.daiko-sb.co.jp/">http://www.daiko-sb.co.jp/</a>
同取次所	株式会社 だいこう証券ビジネス 本社及び全国各支社



## 株券電子化についてのご案内

当社を含む上場会社の株券は、2009年(平成21年)1月5日に電子化されます。これに伴い、現在発行されている株券は無効になります。ただし、株主さまの権利は電子的に証券会社等の口座や、株主名簿管理人の特別口座で管理されますので、株主総会の議決権や配当金の受取等株主さまの法律上の権利がなくなるわけではありません。

詳細は、同封のリーフレットをご参照ください